

尽きない悩み

「今まで産後ケアの必要なママはいました。でも実際、産後に継続入院した人はごくわずか。入院費が自費だと聞くと、あきらめて帰っていきました」そう話すのは、渥美病院の助産師である山元看護課長。

7月からは、市の産後ケア

事業が始まり、自己負担2割でサービスを受けられます。

サービス開始に向けて、渥美病院では新人助産師2人が加わり、助産師9人体制で準備しています。「今はまだできる業務に限りがありますが、将来、ママと赤ちゃんのためにいろいろなサービスが提供できるようにしていきたい」そうこれからの展望を力強く語ってくれました。



渥美病院 助産師の皆さん

(写真)後列右から、山元看護課長、仲谷さん、伊藤さん、鈴木さん
前列右から、永津さん、本多さん、隈部さん

もともと渥美

病院は、産後6日間入院ができ、他の産科機関よりも、長く入院ができるようになっていきました。その分これ

までもきめ細やかなケアをしてきました。

「そのおかげなのか、田原市は他市より母乳のみで育てる赤ちゃんが多いんですよ」それでも、ママたちの悩みは尽きません。それゆえ、母乳指導を受けてうまく授乳できるようになると、母親としての自信につながっているようです。

一人で悩まないで

現代は、出産年齢が10〜40歳代と幅広くっており、一人一人の悩みも多様化しています。

また、田原市は他県から嫁いできて、ほかに頼れる人が近くにいないママや、外国人のママも多くいます。そんなママたちの悩みに寄り添ったケアを心掛けている渥美病院の助産師の皆さん。

「一人で悩まないで。いつでも連絡できる場所があると心に留めておいてくださいね」

申し込み・問い合わせ先

健康課へご相談ください。担当保健師がお話をお伺いし、一人一人に合ったケアや施設をご紹介します。

▶健康課 ☎23-3515
健康課(あつみライフランド)
☎33-0386

利用期間・自己負担額

□厚生連渥美病院

【利用期間】月曜～金曜(最大5日間)

【自己負担額】1日2,160円

(例)1泊2日:4,320円

□ふたば助産院

【利用期間】最大7日間

【自己負担額】1日2,000円

(例)1泊2日:4,000円

※食事代、指導料、個室料含む

※双子などは別途加算あり

※生保・非課税世帯は基本料金(上記の自己負担額)は免除

利用できる施設

□厚生連渥美病院

(田原市神戸町赤石1-1)

※渥美病院で出産した方が対象

□ふたば助産院

(豊橋市杉山町字原12-1370)

※施設によって利用メニューが異なります。

